

# CF-300I-OZ

# 気化式送風機(冷風・加湿) オゾン300

## メンテナンス



消臭・除菌

### ■清掃方法



注意

※背面フィルター、側面フィルター、エレメントを取出す際は、電源が入っていないこと、プラグが電源につながっていないことを確認してから清掃をおこなってください。

●新鮮で清潔な空気を送風するために、こまめに水を入替え、定期的に背面と側面のフィルターとエレメントを清掃してください。

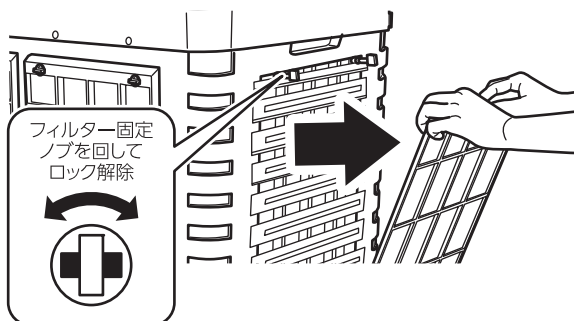
### ■フィルターの清掃

フィルター固定ノブを回して、ロックを解除してください。

背面・側面のフィルターを取りはずし、

流水で汚れを洗い流してください。

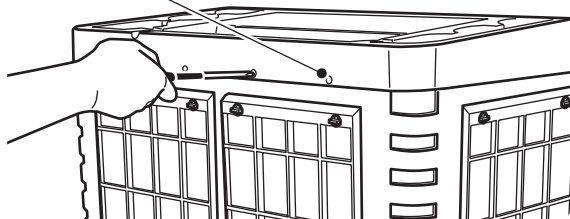
※高圧の水で洗浄しないでください。



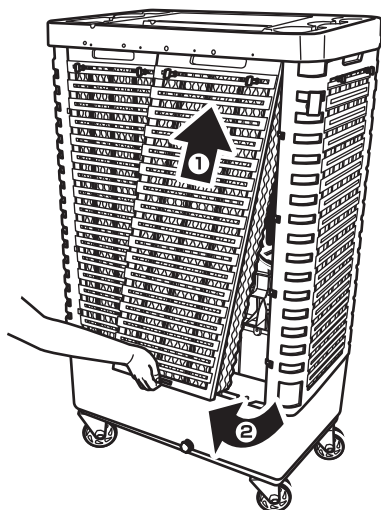
### ■エレメントの清掃

① ドライバーで、背面の本体カバー固定ビスをはずします。

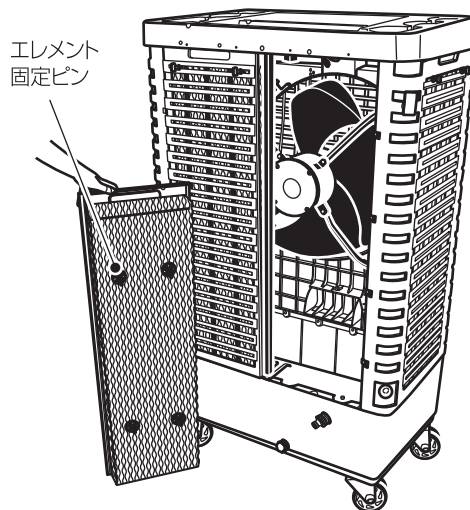
本体カバー固定ビス



② 背面本体カバーを少し本体側に押し込みながら上へ持ち上げて本体カバーを取りはずしてください。



③ エレメントを固定しているピンをはずし、エレメントを取りはずして、流水で汚れを洗い流してください。洗浄する際はエレメントの内側(ファン側)から外側へ洗い流してください。※エレメントを傷めるおそれがありますので、高圧の水で洗浄しないでください。また、液体洗剤などは絶対に使用しないでください。

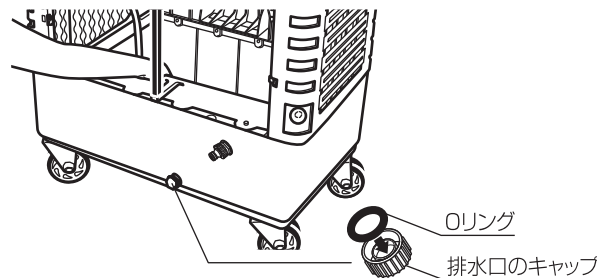


### ■タンク・アイスボックス内の清掃

タンク内を清掃するときは、排水口のキャップを開け、残った水を抜いてください。

流水でタンク内の汚れを洗い流してください。

アイスボックス内を清掃するときは、水がないことを確認しやわらかい布などでボックス内の汚れをきれいに取り除いてください。



※注意

水を抜くため、排水口のキャップをはずす際、キャップにOリングがはまっているか確認してください。水の勢いで、Oリングがはずれることがあります。

※高圧の水で洗浄しないでください。

※流水で落とせない汚れは中性洗剤などを含んだやわらかい布で拭いてください。

※強力な洗剤は本体を傷めますので、使用しないでください。

※長期保管する際は、水を抜きエレメントを乾燥させて保管してください。

※エレメントの乾燥は送風にし、1時間以上運転すれば乾燥します。

※タンクに水を入れたまま放置すると故障、悪臭の原因になります。

ウォーターポンプの清掃を裏面に記載しています。

## メンテナンス つづき

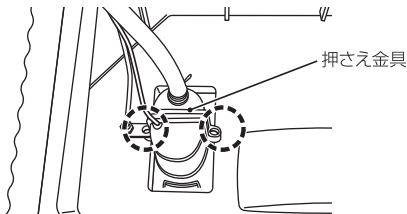


消臭・除菌

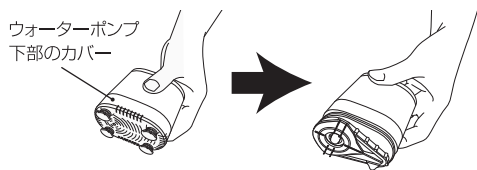
### ■ウォーターポンプの清掃(オゾンが水を吸い上げなくなったら)

※入力電圧が低下しすぎている場合も吸い上げなくなります。(65V前後)

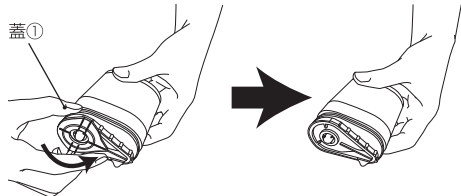
- ① タンク内のウォーターポンプを固定している押さえ金具のビスをはずし、ウォーターポンプを取出してください。



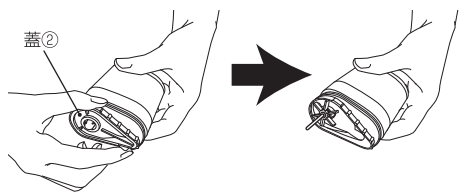
- ② 取出したウォーターポンプ下部のカバーを取りはずしてください。



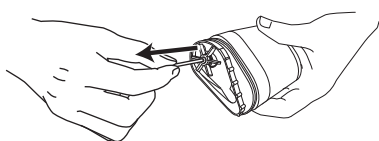
蓋①はまわして取りはずしてください。



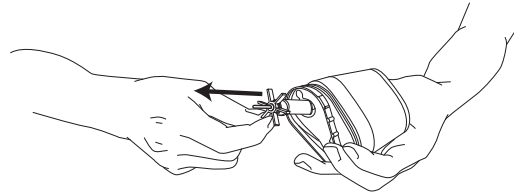
蓋②はつまみを引き上げて取りはずしてください。



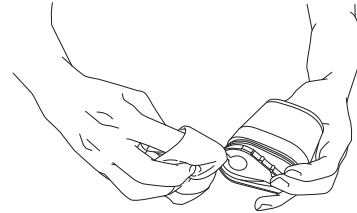
- ③ インペラー中心にある軸を引き抜きます。



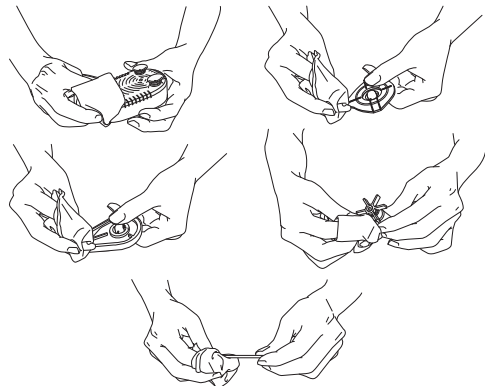
- ④ インペラーを取りはずします。



- ⑤ 内部の汚れをやわらかい布できれいに取り除いてください。



- ⑥ 取りはずしたカバー、蓋①、蓋②、インペラー、インペラー軸も同様に汚れを取り除いてください。



※汚れがひどい時は、水道水などきれいな水で洗い流してください。

清掃後は、元通りに組み立ててタンク内に押さえ金具を使用し、確実に固定してください。

**警告** ※取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示します。

- 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグは、必ずプラグを持って確実に抜き差ししてください。(コードを引張らない)断線による故障・火災・感電の原因になります。
- 本製品の清掃時や使用しない時は、必ず電源プラグを抜いてください。火災・感電の原因になります。
- 絶対に改造および記載事項以外の分解はしないでください。修理などのご依頼は販売店および当社へご相談ください。故障・火災・感電・ケガの原因になります。
- 電源プラグにホコリなどが溜まると、湿気などで絶縁不良となりショートや火災の原因になります。定期的に乾いた布などで清掃してください。
- 屋外や屋内の水のかかる場所では使用しないでください。感電・故障の原因になります。
- 本体や電源コード・プラグは絶対に水洗いしないでください。感電・故障の原因になります。
- 本製品を踏み台にしたり、物を載せないでください。故障・ケガの原因になります。

**警告** ※取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示します。

- 火気に近づけないでください。本体や電源コードの変形による故障・火災の原因になります。ストーブなど燃焼器具に向けて使用しないでください。火災の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

**注意** ※取扱いを誤った場合、危険な状態が起こる可能性があり、傷害や軽傷などを受ける可能性や物的損害の発生が想定される場合を示します。

- 本製品は、水平かつ安全な場所で使用してください。※キャスターのストッパーは、必ずかけてください。
- 本製品を傾斜状態で運転しないでください。転倒などによる事故の原因になります。
- 入力電線や延長コードは、巻いたままや束ねた状態では使用しないでください。※電線が発熱し劣化や火災の原因になります。必ず、伸ばした状態で使用してください。